

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

「利を他者に供すれば、利は自らに還る＝利他利還」の会社理念のもとに、農業振興を第一に考えています。未来の農業が発展するために何ができるのか、持続的な地域社会の実現を目指し、日々努力を続けます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	温室効果ガス排出量 2026年5%削減(2023年比)	2023年CO2排出量322kg⇒ 2026年CO2排出量306kg (2023年比5%減)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	農業振興の取り組みの強化(子ども食堂へのトマト寄贈・ 食育活動等)	農業振興に関する取り組み実績 2023年:月1回⇒2026年:月2回 以上
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	農業支援アプリ等の新サービスの開発と普及	利用人数 ・2023年:0人⇒2026年:100人 以上

<パートナーシップ>

「すべては農業そして農家の皆さまの発展のために。」これからの農業を共に考える良きパートナーであり続けたいと願っています。協力企業や自治体、金融機関等、ステークホルダーと信頼関係を構築するとともに持続可能な社会づくりに向け取り組んでいきます。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制への取り組み 電力の再生エネルギーへの転換・節電推進等に取り組んだが、電気料金高騰で通常電力への回帰、設備導入等により消費電力増加のため未達成となった	温室効果ガス排出量 2023年10%削減 (2020年比)	2023年度CO2排出 量322(約2%減)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・女性の活躍推進 役職定年等により未達成だが、若手女性管理職の登用、男性育休推進、小学生までの時短勤務拡大等女性はじめ誰もが長く活躍できる施策を強化している	女性役員・管理職率 (2020年33%⇒ 2023年40%)	2023年度末 33.3%
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・生産者の収益向上に利する環境制御機器の普及を推進する 環境制御機器の普及推進、栽培指導、アフターフォローにより目標を達成した。ハウスナビ以外の制御機器普及も継続して取り組んでいる	環境制御機器ハウス ナビ導入実績 (2020年120台⇒ 2023年150台)	2023年度末トータル162台

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。